



完成品です。余分な麦わらは切りとります。

3本の麦わらからはじめる編み方を覚えるといろいろと楽しめます。小さくつくてペンダントにする、平らに編んでブローチに、中に試験管をいれて一輪挿し等…

3本を使うと螺旋の5角錐になりますが、途中で1本抜けば4角錐になります。

できあがったら、最後の部を乾くと透明になる接着剤をぬっておくとあとでほぐれません。

左の写真は大麦で作ったものですが、身近にある野草(カラス麦、カモジグサ、ウシノケグサ等)も使えます。

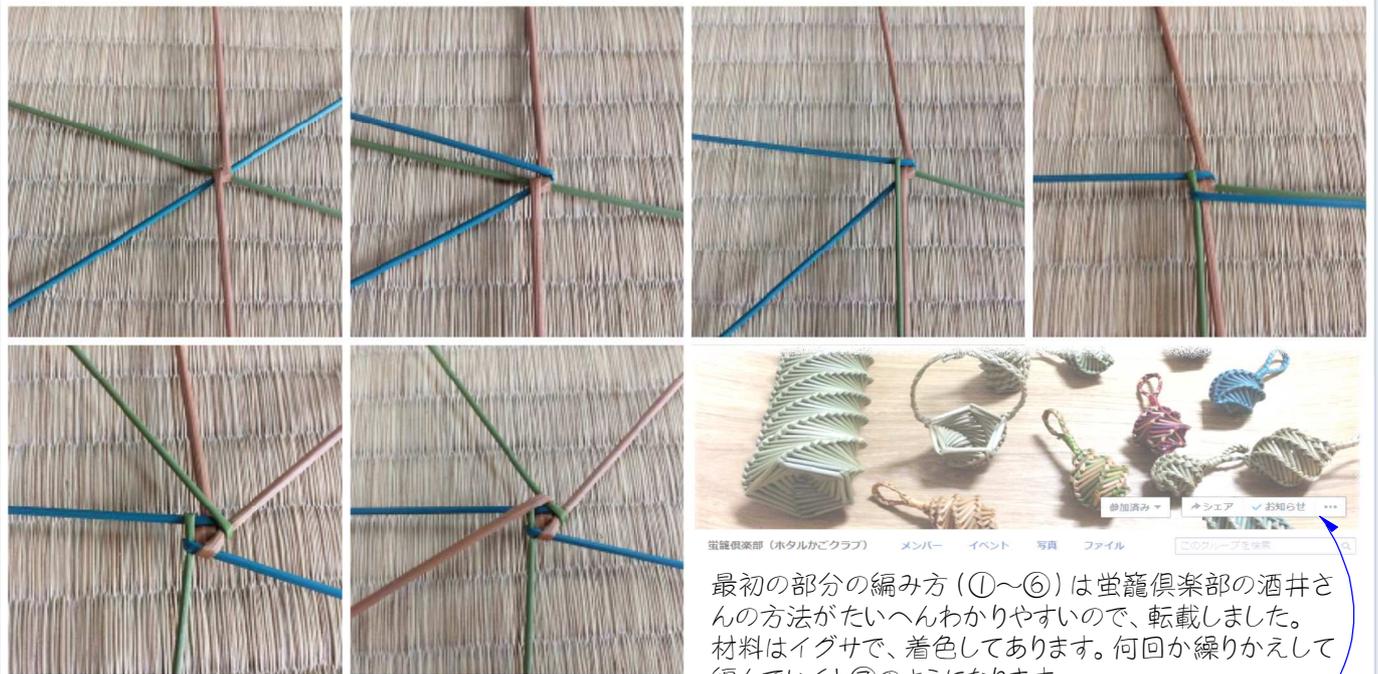
連絡先

〒319-2211 常陸大宮市岩崎272-4
金子卓 電話 0295(52)2422
メール kaneko-s@jcp-net.jp

野草ウシノケグサで編んだ一輪挿し(高さ約15センチ)。中に試験管が入っています。柱等にかけて使います。

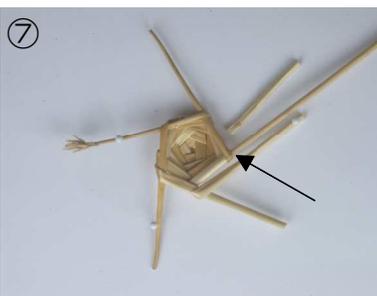


野草カモジグサを使い継ぎたさずに作ったミニほたるかご(高さは約5センチ)のブローチです。

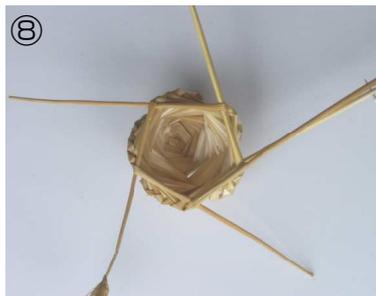


最初の部分の編み方(①~⑥)は蛍籠倶楽部の酒井さんの方法がたいへんわかりやすいので、転載しました。材料はイグサで、着色してあります。何回か繰りかえして編んでいくと⑦のようになります。

※Facebook 蛍籠倶楽部(ホタルかごクラブ)をぜひご覧になってください。いろいろなデザインのものが見られます。



麦わらが短くなったら、新しい麦わらを継ぎたします。角で切って継ぎたすときれいにしあがります。



最初は外側に編んでいき、一定の大きさになったら内側に編んでいきます。



最後は三編みにして持つところを作ります。(いろいろ工夫してください)

蛍籠倶楽部 (ホタルかごクラブ)



① 一番下の茶色を1回まわしてください。

② 1回まわした茶色の右側の青を茶色の上、緑に並べるように織ります。

③ 次は緑を青の上、茶色に並べるように織ります。次は青を緑の上と順に織っていきます。

④ 青を緑の上、茶を青の上、緑を茶の上、茶を緑の上に織って一回りすると、このようになります。

